

4 課 あらかじめ味わったローマ福音化（使徒19:21）

序論の3つの祝福を味わっていると、ただキリストの中で生かして、生かされる出会いが与えられます。パウロは、序論の3つ（プラットフォーム、物見の塔、アンテナ）を24時、いつも祈っていました。

フォーラムしよう

「神様の絶対計画」

序論の内容を味わっていると、出会いが与えられ、そして、ローマ福音化の答えにまでなります。神様がパウロを召されたとき、言われたことがあります。

使 9:15

しかし、主はこう言われた。「行きなさい。あの人はわたしの名を、異邦人、王たち、イスラエルの子孫の前に運ぶ、わたしの選びの器です。」

これが、パウロを召された理由です。

この神様の計画の中にいたパウロが、その計画どおりに導かれていきました。

この導きの中でパウロは、告白します。

使 19:21

・・・「私はそこに行ってから、ローマも見なければならぬ」と言った。

それに対して、神様がパウロに言われます。

使 23:11

その夜、主がパウロのそばに立って、「勇気を出しなさい。あなたは、エルサレムでわたしのことをあかしたように、ローマでもあかしをしなかなければならぬ」と言われた。



パウロが囚人となって、船に乗ってローマに向かうとき、暴風の中でもう一度パウロに神様の計画を語っていただきました。

使 27:24

その夜、主がパウロのそばに立って、「勇気を出しなさい。あなたは、エルサレムでわたしのことをあかししたように、ローマでもあかしをしなければならない」と言われた。

パウロは、自分が思うように人生を生きたのではなく、序論の祈りをしていたのです。

○プラットフォーム（＝ただキリスト）

キリストを通して神様とつながり、その私を通してすべてが神様とつながる

○物見の塔（＝ただ神の国）

神の国の背景を持って世界を見る

○霊的アンテナ（＝ただ聖霊の満たし）

礼拝、祈り、みことばによって聖霊に満たされる

この3つを味わっていたパウロが、神様の絶対計画の中で導かれたのがローマ福音化です。

使 28:28-30

ですから、承知しておいてください。神のこの救いは、異邦人に送られました。彼らは、耳を傾けるでしょう。」

こうしてパウロは満二年の間、自費で借りた家に住み、たずねて来る人たちをみな迎えて、大胆に、少しも妨げられることなく、神の国を宣べ伝え、主イエス・キリストのことを教えた。

パウロは、神様の絶対計画によってローマまで行き、ローマで二年間、イエス・キリストについてあかししたのでした。

このような神様の出会いと、世界福音化の神様の計画がなされるようにと祈りましょう。

